

佐世保市立潮見小学校

佐世保市須田尾町19-44

校長 惣田 正宏

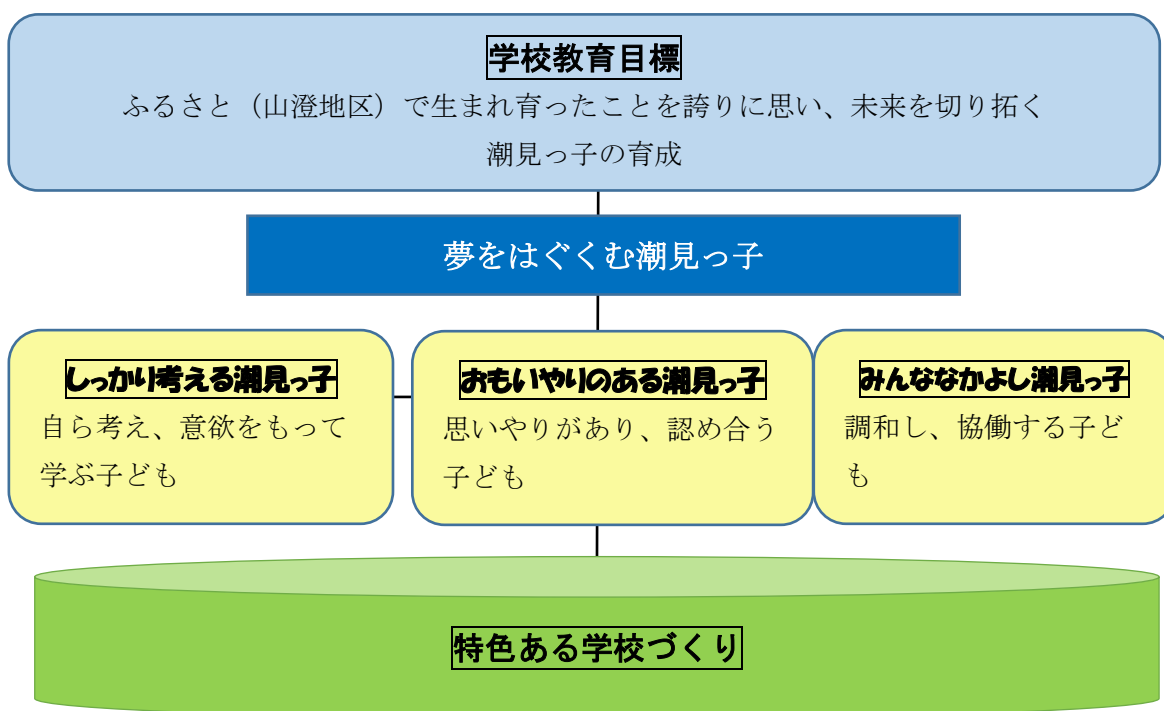
児童数 141名 学級数 9学級

(令和6年5月1日現在)



1 目的

学校教育目標「ふるさと（山澄地区）で生まれ育ったことを誇りに思い、未来を切り拓く潮見っ子の育成」に基づいた、本校のめざす児童像「**しっかり考え おもいやりのある みんななかよし 潮見っ子**」の具現化のために特色ある学校づくりを推進します。



令和6年度も、創立90周年を記念して児童が作成した「夢をはぐくむ潮見っ子」をテーマに、学校教育目標を具現化する「しっかり考える おもいやりのある みんななかよし」の3つの視点で、様々な学習・体験活動を計画・実践して、特色ある学校づくりを行いました。

2 実践内容

(1) しっかり考える潮見っ子



<児童用端末の活用>



<端末や模造紙など
自分たちで形式を選んでの発表>



<標準学力テストの活用>

[できた わかった やりとげた 学び体験]

校内研修では、「学びへの意識を高くもち、みんなで分かろうとする潮見っ子の育成」を目指し、児童用端末や思考ツールを活用しながら国語の授業研究を行いました。

1月に実施した標準学力テスト（国語）では、1，3，4，5，6年で目標値を上回りました。

標準学力テストの成果と課題を把握し、補充問題を活用して学年のまとめをしました。



<子ども新聞を教室へ4～6年>

[読書活動の推進]

読み聞かせボランティアや学校司書、委員会活動で連携し、読書習慣の形成を目指しています。

また子ども新聞を活用し、時事への関心を高め、各教科等において図書を利用した調べ活動が促進されるよう工夫をしました。



<読み聞かせボランティア>

(2) おもいやりのある潮見っ子

【わくわく どきどき
しんみり 感動体験】

「おもいやりのある心」は、他者への理解を深め、多様性を認めることが大切である。そこで様々な感動体験を設定しました。



<落語会の開催>

佐世保市出身の三遊亭らっ好さん
「潮見小寄席」話芸にみんな大笑い。表現力のすばらしさを実感しました。



<赤ちゃん触れ合い体験>

6年生が幼児教育センターで13組のお母さん・赤ちゃんとふれあう体験をさせていただきました。



<ウサギのコップを偲んで>

いのちを見つめる日に合わせて、「小さな命に優しい社会へ」という題で、全学年で、長年飼育していたウサギのコップや地域ネコについて話を聞き、みんなで命の大切さについて考えました。



<平和案内人による説明>

今年は、4年生の見学旅行で平和案内人の方に説明を受けながらの原爆資料館見学をしました。平和学習への理解が深まり、命の大切さについて考えました。



<機器を用いて点字作成>

[福祉についての学び]

4年生は、市社会福祉協議会に協力していただき、障がい者の方との交流、ユニバーサルデザインについての学習等を行いました。障がいのあるなしに関わらず、だれもが住みやすく、暮らしやすい社会をつくるために必要なことは何かについて学びました。実際に接し話をしないと気付かないことが多くあります。

(3) みんななかよし潮見っ子

つながり ふれあい 笑顔あふれる 協働体験

学校一徳運動の「きもちのよいあいさつ」推進のため「のぼり旗」を作成し、学校及び地域で掲げています。コミュニティスクールとなり、地域の方々と会話につながるあいさつができるようになってきました。6年生は在校生に何かを残したいと朝のあいさつ運動を行いました。



<あいさつ運動>

[潮見っ子フェスティバル]

今年も代表委員会で話し合い、スローガン「潮見っ子フェスティバル 最高に明るく楽しもう」のもとに開催しました。お客さんが喜んでくれる工夫を学級の仲間と話し合い協力し合ってやり遂げました。交流している園児たちも楽しんでくれました。この日に行った学校運営協議会に参加した地域の方々も、笑顔で帰っていかれました。



<潮見っ子フェスティバル ストラックアウト>



<あいさつのぼり旗>



<秋の国道植栽>

[国道植栽]

春と秋に、国道植栽を行いました。この活動は、国土交通省、地域ボランティア、保護者、学校が連携をして平成18年から毎年行っているものです。地域の方と一緒に佐世保の玄関口にきれいな花を咲かせます。

<潮見っ子フェスティバル 人間まちがいさがし>

